



ニール・キーナン アプデート 我々は家路を辿っているか？

<http://neilkeenan.com/neil-keenan-update-are-we-on-our-way-home/>

2016年6月6日 | 筆記録

こんにちは、グループ-Kのリチャード-モントゴメリーです。今日は2016年6月7日。ニール-キーナンとグループKの使命に置いての、彼らの現在の位置と次のステップについて重要な最新情報を知らせるためこのビデオを制作しました。

ニール-キーナン・マーク-ウィリアム・ディーン-チェンバース・グループKがここに参加しています。またマーク-トーマスから、彼の財団 ローズ-オブ-ライト (Lords of Light/光の造物主たち)の概要についても聴きます。

まずニール-キーナンからのメッセージですが、彼の近年の達成・難点・近々起きるパラダイム-シフト-イベントに向けての課題について、彼が話します。

ニール・キーナン

皆様こんにちは。私の名前はニール-キーナンです。グループKの会長です。正直言って、今どこから始めればいいのか解りません。そこで最初からになります、勿論それは訴訟です。約7年前、私はニューヨーク-マンハッタンにある下級裁判所で秘密結社を相手に、兆ドル訴訟を起こしました。当時ベン-フルフォードは、それを西洋の金融暴政を崩す訴訟と呼んだ。デビッド-ウィルコックはその後すぐに「金融暴政」というタイトルで執筆した。

遂に誰かが秘密結社とその輩に立ち向かった -- と我々の社会に広まっていった。戦いは開始した。社会と数多くの人々は、遂に目を開いた。その訴訟はできる限り長い間開いておいた。私は管轄に必要な全てを追った。しかし我々の裁判官が事の最中に退職した。オバマ大統領の経済顧問の兄弟にあたる彼は、裁判官という地位を与えられていた -- 与えられていた -- のである。彼の初の仕事は兆ドル

の訴訟だった。その訴訟を消失させることが、彼が請け負った仕事であった。そのような条件下で訴訟を続行するのは、その時点においては無理であった。

まずの問題は管轄だった。彼らが我々を出し抜く前に、その訴訟は取り下げられた。公平にはヨーロッパが実際の戦の場であり、米国はその時点でやっとな程度目を開いたのである。それは私の望んだように我々が事態を運んだということになる。地球を解放に向けて努力する我々に、何の助けもしたことの無い反目者どもに、私は聞く耳を持たぬ。私が思いやるのは地球と人々だけである。

その訴訟は起きてないと言う人達が依然としている。とんでもない嘘である。訴訟は行ったが完了しなかったのだ。その訴訟はアメリカの可能性なのだ。「この訴訟は、他のどこでもなく、私の法廷にしか持ち込めない」とその裁判官は言った。彼の権限は米国内にしかない -- 他諸国において彼は何の権限もない -- ことを彼は忘失している。ヨーロッパは訴訟する全ての権利を持つ。彼らの近辺で明るみに出た全部を見てきたからである。ヨーロッパで、人々の身の周りで、何が起きたかひとつ申し上げよう -- 我々が生き抜いてきた状況に比べると、ダヴィンチ-コードは狂気に欠ける。

物事は迅速に進んだ。訴訟・世界的戦い・我々に手助けの手段となったイタリアのベルルスコーニ首相・内閣総理大臣サルコジ・女王のベアトリス・ビルダーバーグ創業者・その他多数の者達は現在監禁されている・又は敗北している・世界的な地位から辞任している。私達が主席陣に錠を下ろしたことは間違いない。

政治から金融まで取り組む我々は、**U.S.S.** ジョージ-ワシントンでウォール街向けに出荷された**30万トン**の金塊を食い止めた。それが遂行されていたら、いかに無念な日であっただろう。そうでしょうか？ 我々はまた、タイ人から**1万メートルトン**の金塊を受け取ろうとするオバマを抑止した。そう 骨の折れる仕事でしたが我々はやった。ご存知のよう我々はブロガーではない。コメントをする多くの人々。我々は地にいる・我々は戦う・我々は勝利を挙げる・我々は誰にも答えない・どの魂にも。

我々がこれら全てを防御して間もなく、クリントン財団を用い、インドネシアの副大統領の暗殺を目論むクリントンを我々は阻止した。数十億ドルがインドネシアで名の知れた銀行口座 (政党) に転送されていた。秘密結社が選んだ党を安定させるために、暴動を引き起こし、インドネシアを支配下におく策略に使う予定のお金だった。そんなことはさせない。私はインドネシアをととても愛し、人々は素晴らしい。それが起こっていたなら地下室の保管所は決して安全でなかったであろう。

我々は**I.R.S.**(米内国歳入局)が法人であることを暴いた (ヒストリ-タイムライン参照)。上記を多く組み入れた”モナコ協定”を創作するためである。それが我々にくれたものをご覧下さい。我々を**BRICS**に導いた。神よ その立案と実施に感謝

します。「金融的に西から分離すること」と東に私が大声で叫んだすぐ後に。西は東とグローバル口座の略奪にあたっていた。東のファミリーはしっかりと聞きとり、**B.I.S.・I.M.F**・世界銀行の力を除去し、彼ら独自のアジアのインフラ投資銀行をすぐに設立した。

ブレトンウッズ協定は、東と西に署名された文書で、グローバル口座は世界中で使われるよう意図されていた。それを西は2度乗っ取った。我々が訴訟のみならず攻撃に入るまで、東は座ってただ眺めるしかなかった。

だから基本的にその金融システム全体は、グローバル担保口座を保護する計画で、ブレトンウッズ協定詐欺を禁ずるために、それを植えつけるずっと前に、我々が考えだしたものです。西の基盤は震えていた。こういった高レベルの腐敗にまつわる者は多くない。銀行業界・法人政府施設・団体・その他の者である。彼ら各人が、その時は間もなく来るという警告に感づいている。彼らはそれを感じ続ける。さあ追い込みに入るぞ。

一方、我々にとって初めての体験は非常に多かったが、中でも依然として私を笑わせる最高のものは、最初の金塊の箱を開けた時である。箱を車に積んで**10時間**走ってもアドレナリンはまだ天井を突き抜けるほどほとぼりしていた。我々はこれを開けることにした。私は次の夜発つ予定だったし、ネルは運転手として疲労していた。帰りの道中はほぼ基本的にレースカー-マニア沙汰であった。ネルは運転をし、我々全員は金槌とドライバーでステンレス製の箱に取り組んだ。後で知ったことだが、その箱自体に至って高価な値打ちがあったそうだ。それはステンレス鋼であった。とにかくそれはポンと開き、中にある**51キロU.B.S.**金塊が露出された。無論全員がそれを見た。この理由からその場で開いたのだ。そうしなければ、次に見ようとする時まで一ヶ月〜6週間待つことになる。我々はその金塊を遥かに大きなことのために効果的に使うことを即時決定した。今日も我々を待つあと**30箱**と共に、それを当然の権利として近々要求することを我々は期待している。

冒険といえば、私は本当にこの全域のコースを駆け走った。地下室への私の最初の旅は信じられないほど神秘的だった。それについて多くは述べないが、長さ**6エーカー (7344坪)**で5層から成る・屋内には地球上に存在する全ての通貨・我々が聞いたこともない知らない、世界の方向を変えた同意書原本があった。その中には訴訟の助けになる文書もあった。「ええ、我々是不滅の歴史的事項となるその訴訟を、米国で再び起こしますよ。」ごく少数の聡明なカザリアン-シオニストが、何年も前に熟考し開始したことが起こりで、世界は革命となる。打ち克ち難く見えても、彼らが最終的に我々の事柄に到達する前に、この文書を手元に、彼らは国際的な事件に次々に対処されゆく。我々は可能な限り全てを開き、透明化を図る。何が我々に起きたかを、我々は遂に見ることになる。

我々の隠された歴史を目の前に見ることになる。我々を洗脳するために、ロック

フェラー達を書き上げたテレビ-ニュースではなく。実際我々は再び自由に考え出すかも知れない。そのように初めてなるかも知れない。その訴訟がグローバル口座の後部席にいるように見えても、私はそれから焦点を外していない。皆さんにはそう見えても、私はそうではありません。私は自分のすることのみを理解している。それがキーン式であることを理解して下さい。私が自分の目的地に向かう手段は解っている。

凹凸のあるこの旅全体を、私はこのように考える -- 退屈な瞬間は全く無かったと。考えてみて下さい -- 私は撃たれた・毒を6回盛られた・インチュルとジョーのホテル室で彼らが寝ている間ガスを排出して、ホテルの私がいる側は爆発寸前だった・廊下や路上での数々の戦い・家の廊下でさえ戦う・イタリア-プレート付きの車に撥ねられる・路上で二人のオランダ人にナイフで襲われる・もっともっとある。上記から私はレプラコーンより多くの命を持つ自分を認識し、信じ難さから首を横に振ることしかできない。全く。

反面、我々が行う全てに関連するスピリチュアリズムに私は魅せられている。私はバリで儀式を受けた。その地下室にいる白人は私だけだった。私は長老たちから贈り物を受け取っており、星が適切に並べば、更に多くが私の帰りを待っている。私が四次元と現次元、両方で存在しているという複数の説を聞いた。これについて彼らが述べる内容は、類似点多過ぎ、単に無視することはできない。この進行は狂気じみでいて、正直言って人々の為にならなければ、私はとっくの昔に止めている。私は皆さんを見捨てられない、私は皆さんを残して去らない。何とかして私はことを成し遂げ、我々は誇りを持ち一緒に立つ。M2が言うように、それはでこぼこ道だが、私にはやり切る強さがある。片足ででもやっつてのける。片方の足に危害を加えられ、私が片足だったことを覚えておいて下さい。だけでも我々はやりながら進む。私は進む。これは我々のゴールへの道である。これは私たちの運命であり、意外に早くそこを抜け出るようだ。

M2といえば、M2は最近、私の胸ぐらを掴み「その憂鬱さからいい加減に抜け出てレースに戻れ。さもなくば自分の入る退職センターでも建てろ」と言った。残る道のり僅かとなった、ここまでやって来た私が、これを聞いていることが信じられなかった。「タンクは空っぽだし、引退準備ができていな」と言われた。私の答えは「止めない、絶対に」人々のために私はここにいる。M1の地位とその他のことから、私はこれを完了しなければならない。

私に何が起きようと、生命は継続され改良されて行く。ありがとうグループK。男女で編成されるととても最高級のグループ。驚異的な。いかなる結果になろうと、彼ら各人と一緒に仕事したことを私は誇りに思い、彼ら一人一人を兄弟-姉妹のように愛する。途方もなく素敵な人達。その一人一人に私は敬礼する。

誰かからの全面的な融資により、私が動いてきたと唱える、ごく少数の妬み羨む者達がいると聞いたが、でたらめである。真実ではない。この冒険のために、ほ

ぼ100%数百万ドルを私は自腹を切っている。大金は誰からも出ていない。私は数百万を費やした。そういう人達は百万ドルがどのように見えるかすら知らないだろう。去年2015年の夏インドネシアを出るとき、ホテルの部屋のドアを出て行った時、何かが変化したことを私は前もって感じた。その日の朝、私のカードに多額の現金が入っていた。数時間後の早い午後には、その殆どは私の口座から消えていた。私は家に帰り、銀行に確認すると、事態は思ったよりも悪いことを知った。私が銀行家と話す間、加害者はその口座の残額を一掃しようとした。勿論、銀行はそれを抑えた。この泥棒は捕まっている。

第二に、別の口座が同時にフランスで盗まれていた。その男も逮捕された。彼は自分が誰であり、その裁判所で決定を下すのは裁判官ではなく、彼自身であると述べた。彼は返済すると言った。しかし、彼は私を阻止したい大勢を代表する・その裁判官は彼の下で働く・その他の者達は彼の部下である・と彼は裁判で述べた。その全体を私のために読みあげた。多額のこの現金も、私の口座に入るや否や盗まれた。この狂気の冒険の旅を終幕に近づける資金を私はまだ待っている。

結びとして、M2は本当に私を揺さぶり起こし「レースに戻れ」と突き押し(私はこれを必要としていた)、力を与えたことを述べておく必要がある。M2が私にしてくれたこと全てに感謝する。さあ、前進しよう。

私はお金を自分の口座に転送し、いや、自分の口座へ転送しようとしていた。桁の多い、6桁いや実のところ7桁の話である。私はそれらを受け取っていない。その言い訳は馬鹿げている。全く馬鹿げている。ブッシュ法人の関わるヴァンガードが原因で、私はそれを受け取っていないのだ。

では皆さんを明るくするお知らせをします。グループKは、チームに複数の新機能を追加して、これまで以上に強化されてカムバックします。そうです、我々は複数の新機能を追加するのです。我々はもうすぐ行動に入り、完了させる計画であることを、皆さん知っておいて下さい。まだ述べていないのが、ジョー・ネル・ジョンノ・非常に多数のアジアの人達が、これを成功に導く必要な要素となる。彼ら自体が驚くべき最善の人達である。

M2、ありがとう、突き押ししてくれて、痛かったよ。私はもう十分に話したと思う。神の祝福が皆さま全員にありますよう。頑張ってください。私たちは成し遂げます。完了させます。私にお付き合い下さり感謝します。ニール・キーナンは、サインアウトします。さようなら。

マーク・ウィリアム

こんにちは。私の名前はマーク・ウィリアムで、カナダから来ました。私は、過去1年半ニール・キーナンとグループKに携わってきました。私はオンラインでニール・キーナンと会いました。私がカレン・ヒュデスを非難している状況を通して彼に会いました。オンラインでニール・キーナンを知り始めました。彼は私

の持つ複数のスキルに気付き、もっと話してみようと思ったようです。

私の背景は、30年間のメディア通信ビジネスで、称号は撮影監督です。私は映画撮影技術者で、ドキュメンタリーのカメラマンです。過去30年間を通じ約70カ国を旅しながら、歴史的な映画・文化的な映画・精神的な映画・数多くの時事問題の映画を作ってきています。私は、グローバル金融システムの何が、世界の人々を騙して巻き上げているのかを、理解する背景を持っています。

ニール-キーナンと会い、私は自分の経験を持ち寄り、彼と一緒に仕事を始めました。私はニール-キーナンに耳を傾け、彼がグローバル口座を確保するため、この巨大な仕事と取り組んでいることを知った。この男性からはいつも感銘を受けた。殆どの人はグローバル口座について知らない。ニール-キーナンに耳を傾けた人は本当に僅かで、ベンジャミン-フルフォード・"独裁金融"の著者 デビッド-ウィルコック を通じてニール-キーナンについて聞き、その内容がニール-キーナンが行った全てだと思う。西洋の金融システム全体は担保に支えられていること、その担保はアジアから来ていること、特に国民党組織(中国国民党)と呼ばれるドラゴンファミリーからであることを人々は知らない。金融システム、又はロスチャイルド銀行システムを、彼らが約100年間支えて来たことを、殆どの人は理解していない。そして、システムの最上位にいる人々さえ、この担保の出どころを理解していない。

私がニールと連れ立って歩きだした時、私には担保口座について少し知識があったので、彼がしていることは見当がついた。彼がドラゴンファミリーとつながりを持つことを私は理解した。このことは、彼は正当な人達から許可を受け、その正当な人達と一緒に、正当なことをしているという感覚を私に与えた。他の多くのグループがオンラインで名乗り出ている。OITC・OPPT・SwissIndo・レッドドラゴン・レッドドラゴン大使、という名前を皆様は聞いたことがあるでしょう。

これらの大部分のグループが提出している文書は、別の多くのグループも、実際に繰り返し使ってきているものである。それらは全て偽造です。私たちは、これらの文書を誰が作ったかを知っている。彼らがよく使うその同一の文書はフィリピンから出ており、マルコスの領域のエリート達で、彼らは複数の口座を持っており、彼ら全員がその口座を照会する。それはLSM-TVM666だと思えます。

これらの口座が詐欺だと証明された今も、多数のグループがまだそれを利用しようとしている。過去一年半、私はニール-キーナンとグループKの他のメンバーと関わってきた。これらのグループを我々は繰り返し暴露し、そういった人物達が本物ではないことを人々に知らせてきた。現在多くの人々が名乗り出て、ニール-キーナンは本物ではない・彼がドラゴンファミリーと作業していない・ニール-キーナンは前科者である・彼は麻薬密売人・彼はCIAのエージェントであると、と唱えている。このどれもが真実ではない。それは全て証明できることで、これらの唱えごとを支えるものは一切ない。

こういったことを主張する最後の偽者は、多分レッド-ドラゴンのレッド-ドラゴン大使であろう。中国のアジアの家族の一員だと彼は称するが、実はヨーロッパの西洋人で、数軒の西のエージェンシーを代表している。このことは明るみに出ている。最終的にここで何が起きたかですが、過去数年間、特にここ6~8ヶ月の間、ニール-キーナンは彼自身が誰であることを自分で証明した。それは民間に対してよりも、システム最上位にいるエリートに対してである。

この世界をあるべき姿に戻そうとする人達は、ニール-キーナンの行動に感謝する。彼らの多くは、勿論あなたとの関与を希望すると述べ、お金をくれますか、我々のプロジェクトや我国のためにお金が必要。あなたは私達にお金をくれますか？全くお決まりの、欲しい、欲しい、欲しいで、過去1年半の間、誰一人としてニールの現在の行動に金銭的支援を申し出た人はいない。ニールは、過去8年間、これらの担保口座を確保するため、何百万も使ってきた。アジアのドラゴンファミリーが、民間人道的プロジェクトのためのプログラムP.P.P.に入れ、14億ドルに相当する債券を現金化するように、ニール-キーナンに与えたときにそれは始まった。その債券は、イタリアの元首相ベルルスコーニと関連したダル・ボスコを通じて、世界経済フォーラムにより、ヨーロッパで取り押さえられ盗まれた。これらの債券を、自分達の銀行の自分達の口座に入れ、自分達の目的のために使おうというのが彼らの目的であった。

振り向いたニールは、連邦準備制度理事会・ニューヨーク連邦準備・ヨーロッパの中央銀行・イルミナティ-システムの主要人物・ロスチャイルド家・に至るこれら全組織に対して兆ドルの訴訟を起こした。ニール-キーナンが申し立てたこの訴訟の規模と影響を、一般社会は理解できないだろう。彼はそれをニューヨークの裁判所のシステムに入れたが、最後には適切な管轄であるスイスで、訴訟を再び起こさなければならなかった。しかしニューヨークでこの訴訟を起すことにより、世界中に旗が上がる。内密に通じる者と銀行システムのトップにいる者達は、世界の全ての秘密結社システムを追うこの男、ニール-キーナンにあっけにとられた。こんなことをしている彼が、どうしてまだ生きていられるのだろうか？

ニール・キーナンが、Kグループとモイヤーズと一緒に提出した兆ドル訴訟に、システムはうろたえた。それはうまく転がり、多くの良い結果を生み出した。米ドルやユーロは、全て不換紙幣であることも立証した。全レベルで非常に多くの証拠を引き出した。そしてニールは再び訴訟できるのだ。

前に進みますが、担保口座というものがあり、担保口座の裏にはドラゴンファミリーが存在することを、エリートに理解させ、彼らの目と耳を覚ませた。ニール-キーナンの行う訴訟は、ドラゴンファミリーを代表してのものです。彼から盗まれた債券を救うために、ニール-キーナンはドラゴンファミリーから許可を受けている。

それが盗まれた今、彼は選択を持つ。ドラゴンファミリーは戻って来て言った「ニール、心配しないで。私達はその債券を取り消し、60日以内に新しいのを再発行できる。だから、60日以内に新しい債券をあなたに上げます。あなたはそれを、P.P.P.プログラムの人道主義パッケージを介して入れることができる。」その頃は、彼がドラゴンファミリーと働き始めたばかりの年で、彼が担保口座と金融の世界システムを支えるものについて知識を深めた時期である。先述したよう、彼らは債券を再発行を提供し「しかしあなたがこれらの債券を取る場合は、担保口座の後ろを追うことはできない。私達かシステムのいずれかが、あなたが担保口座を追うことを許可しない。あなたは去らなければならない」と彼は言った。

ということは1兆ドルに相当するこれを選ぶかどうか、彼は選択を与えられたわけである。債券は14億である。しかし80年債券が、過去60年の間金利を集め、およそ1兆ドル相当となっていた。兆ドル訴訟とは、ここに由来する。

彼がこの債券を選べば、ドラゴンファミリーは承認し、システムを介して、彼はそれを現金にして使える。彼の選択は担保口座を追うことだった。なぜなら担保口座を追うと、それを解放して引き出せる。千兆ドルに登ると推測される額を人類のために使える。

彼がその兆ドルの訴訟を、秘密結社・ロスチャイルド家・英国女王・オランダの女王・その他秘密結社の複数の名前、に対して起こしたとき、ニールはロンドンでエブリン-ロスチャイルド・バークレイズ銀行頭取達・その他の銀行頭取達がいる会議に引き入れられた。彼らは彼に消え失せて欲しかった。彼に介入して欲しくなかった。特にエブリン-ロスチャイルドは、自分達を追うこの男、ニール-キーナンの持つ不屈の魂に圧倒された。こんなことをした人は今まで誰もいない。彼に与える額を1兆ドルから始めた。ニール-キーナンが失せるには何が要る？彼がその申し出を取ったなら、彼は消えなければならない。秘密結社が、世界人口三分の二か四分の三の我々を一掃する間。

これはニールにかなりのショックを与えた。彼は神の役を演ずる位置に置かれている。その中で彼は、25,000人を連れて、南半球に消えることができる。そうすると秘密結社は、彼らが欲する人口削減を行える。その時点で、彼は再び申し出を与えられた -- 彼が去るなら欲しいものは全て与える。しかしこの申し出を取ったなら、彼は担保口座を追うことはできない。

そこで彼は気づいた『私がこのお金を手に入れたところで何になる。実に私が要するより遥かに多くの額を。そのお金を私が取れば、私は人類を見捨てたことになる。友人・隣人・国家民族・米国・ありとあらゆるもの・全く沢山の人々を私は置き去りにすることになる。人間ならそんなことは頭に描けない。』

彼はその申し出を取らなかった。しかし彼らは過去7年間、提案し続けている。

先週も来た、2週間前にも、今は2016年の5月です。これを聞いていてニール・キーナンとグループKへの寄付を検討している皆様、担保口座を確保完了するにあたり、この過程で発生する大きな問題の一つは資金集めです。「担保口座・ドラゴンファミリー・この千兆ドルに関与するニール・キーナンになぜお金が必要なのか？」と多くの人は言うだろう。ニールが担保口座を追うか、彼の盗まれた債券の再発行を受け取るかについてのドラゴンファミリーの取り決めの一つとして、ドラゴンファミリーは言った「あなたは担保口座を追ってもよいが、私達からの資金援助を期待はできない。」資金が必要な主な理由は、過去7年に渡りニールは5百万ドル以上を使ってきた。それは彼個人のお金で、7~8万ドル以上です。訴訟、他の仲間・銀行家・弁護士とインドネシアで時間を費やした間、ヨーロッパでの取り決めにニールは常に自費で全てを行ってきた。彼はお金を要求したことがない。彼はお金を求めることを拒む。お金を依頼するのは彼の性格ではない。彼が17歳で自立して以来、お金には困らずやってきたからである。

過去一年半彼が行うこの仕事の最終段階で、様々な事が発生し、インドネシアの銀行口座、彼が住むブルガリアの銀行口座を通じ、数千・数十万ドルが彼から盗まれた。これの殆どは秘密結社が、ニール・キーナンのスピードを減じるための試みなのだ。彼らは何かの理由から、彼のスピードを鈍らせたいようだ。ロスチャイルド一族など高位にいる人々は、とにかく彼のスピードを落としたい。またクリントン・ブッシュ・等は、彼を殺すために人々を雇っている。

ではなぜニール・キーナンが資金を必要とするか？に戻りましょう。この最終段階で、彼は資金不足で資金が必要なのです。約半年前に彼はいくつか問題にぶつかった。米国からお金を得られないのではない。彼に送金する人々は米国には大勢いる。しかし、米国・南米・中央アメリカの彼の知人や仕事仲間の殆どが、オバマ・ブッシュ・クリントン徒党から、ニール・キーナンにお金を与えたら、お前とお前の家族は大問題に陥る、と言われていているのです。

現地点で彼は多額を要していない。ドラゴンファミリーから完全な承認を得た地点に彼はいるのだ。過去7年の間ニール・キーナンのデュー-デリジェンスを見てきたドラゴンファミリーは、彼を特にアジアや東南アジアにおいて、担保口座の保安官として信頼している。彼は過去3年間非常に困難であったインドネシアで前進した。文化的な国で、ドラゴンファミリーでさえ、インドネシアでは担保口座には全く接触できなかった。彼らにとってそれは既に決着済みで、念頭にもなかったのであろう。だから4~5年前ニール・キーナンがインドネシアに来て、そこでコネクション作りを開始した時、ドラゴンたちは彼に正しい方向を指差した。これらの口座の受託者達である、保護者と呼ばれるインドネシアの長老達が誰であるかを見つけるための聞き込み調査に、彼は歩き回った。彼らは預金者ではない、インドネシアにあるお金の大部分は、預金者であるドラゴンファミリーが所有している。これらの口座は、1944年から1921年にブレトンウッズ1944協定に備えて設定された。その協定は、全ての国と全ての王室が、彼

らの全ての資産・全ての担保・彼らの全ての富・を登録する世界中の協定であった。そうすることにより、彼らは担保の利子を利用して、世界中に人道的プロジェクトを発足させ、組織化するはずだった。

1944年ブレトンウッズ協定は西によって設立された。世界を実に略奪した西によりそれは設立されたのである。西だけが担保口座に接触できるように設計されていた。各第三国家に配布するよう設定されたお金があった。1944年ブレトンウッズ協定は、パワーブロック国家と同盟国である韓国・日本・台湾・シンガポールが自国経済の再構築にそのお金に接触できるようにした西のクーデターであった。NAM (非同盟運動) と呼ばれる残りの全ては、これらの口座に接触できなかった。実のところ、これらの口座はその他の国々からゆっくりと盗まれていった。すなわち全世界のために設定されたブレトンウッズ協定は、実は西洋だけのためにあり、140カ国以上の国々は接触できなかったのである。

ケネディ-スカルノのコネクションでグリーン-ヒルトン協定を設立した時、ケネディが、この担保の一部を受け取れることになった。彼はそれを使い、ロンドンの街を拠点とし、米国を操る連邦準備制度から脱却するため、米国財務省の通貨を造り上げたことは、インターネットで良く調べられていて、今では殆どの人が知っている。これは重要な事柄である。スカルノ、皆さんが彼の歴史をご存知で、このインタビューを聞いて、担保口座について・そのヒストリ・イベントのタイムライン・ニール-キーンとグループKの成果、を参照しもう少し知りたい場合、Googleで、ニール-キーンナンのタイムライン-イベント <http://neilkeenan.com/history-events-timeline> を調べると、担保口座の全歴史があり、過去7年間のニール-キーンナンのイベント-タイムラインがあります。

その文書内の担保口座の参照から、そのコネクションとインドネシアのスカルノ大統領の重要性が見て取れる。彼は1944年にインドネシアの大統領として選出された。同時に彼は、担保勘定の管理者であるM1に選出された。担保口座の管理者として西に選出され、ドラゴンファミリーによって承認された人です。ゆえに担保口座を解放し、世界への配布を助ける。これはブレトンウッズ1944協定の一年後で、アジア・ドラゴンファミリー・その他の人々は・西は公平なプレーを行う意思がないことが解った。そのためスカルノが担保口座のM1に選ばれたのである。彼は世界の 非同盟諸国の 非同盟運動 (NAM)を代表していた。

その歴史を読めば、彼がケネディとそのグリーンヒルトン協定を作成した8日後にジョン・F・Kが殺されたことを知る。スカルノ大統領は、インドネシアの自宅軟禁され、2年以内に、1967年だと思ふ、CIAと西はクーデターを起し、スハルト大統領を連れてきた。そのクーデターでは、数百万の人々がインドネシアで殺された。インドネシア内のスカルノ支援者は全て死亡し消された。入って来たスハルトはCIAと並んで仕事をした。これはCIAがインドネシアを荒廃させたクーデターであり、インドネシアを正しい軌道から外した。それはインドネシアから資源を抽出する方法だったのだ。これは歴史の小片です。前述したよう、

<http://neilkeenan.com/history-events-timeline/>に行くか、グーグルで、ニール-キーナンのイベントのタイムラインを入力すれば、担保口座・その歴史・先述の過去7年間の、今では8年となったイベントと達成をよく把握できるでしょう。

まったくニール-キーナンは地で仕事をする歩兵である。こんなことをした人は今まで誰もいない。他の人々は違法を行い、とにかくインドネシアを略奪しようとしたことから、何年間も重大な問題を抱えていたが、緩和していることを望む。というのはクリントン・ブッシュ・ソロス-グループ・がインドネシア侵略を数年前まで試みていたからである。ニールは、多くの秘密情報を南アジアに漏らした。それはイベントのタイムラインで読むことができる。特にクリントンとソロスは、副大統領を除去し、CIAの計画に沿った別の副大統領を入れるための、クーデターをインドネシアで起こそうと、約8万ドルをインドネシアに費やしていた。それを暴露したのはニール-キーナンである。

彼は南アジア諸国に、特にドラゴンファミリーに、彼自身を見せた。西の秘密結社の様々な窃盗計画から、ニール-キーナンは他の誰よりも救い守って来た。先ほど述べたよう、ニール-キーナンは歩兵なのだ。

私はインドネシアに行き、約一ヶ月半、ニールと仕事をする機会があった。私はそこで実際に起きていることと、ニール-キーナンの年長者への対応ぶりを見た。本当に正しい長老である担保口座の主要長老とニールが繋がるまでに3~4年掛かった。この他にも多数の長老たちがインドネシアで異なる形の担保口座の所有者であることを理解してください。何百何千という財宝と金塊で満たされた地下室がある。ある過程で、彼の主要助手の一員となったネルと彼は出会った。哀れにもネルは、偽の債券をある人から騙されて与えられた。このためネルは約一年半刑務所に入った。ニールがインドネシアですべきことを達成するにはネルが必要だった。別の長老たちや、誰が誰であるかを知っていたのはネルである。スカルノ信託の受託者であるエディ-セノ博士をニールに紹介したのはネルである。大勢の人々が、インドネシアにいる人々でさえ、地下室の金塊の担保口座・スカルノ信託というものがあるなど考えもしない。

これは事実のところ、インドネシアがこのことに目を覚まさないように西が細工をしているのである。実際、我々が知る限り、ニールが知っている限り、現大統領でさえ担保口座について、それがインドネシアに存在することを十分に知らない。この大統領はおそらく西のアイビーリーグの大学で教育を受けたのだろう。そして彼らはおそらく彼に「いやいや、そんなものは無い、なんだかんだ」と言ったのだろう。私は実際にその文書を見た・スカルノ信託の受託者であるエディ-セノに会った・全ての詳細な書類を見た。

話しを前に戻しますが、ニールはネルを刑務所から出す努力をした。そうすれば彼の仕事を続行できる。騙されて偽の告発を受けたネルを解放するようニール-キーナン・弁護士・国民・が圧力をかけ一年半後にネルは出所した。そして彼ら

は一緒に仕事をした。2015年の中間から2016年の今に至るまで、彼らは全ての正しいコネクションを作った。エディ-セノは、ニール-キーナンをスカルノ信託に承認し、それは現在実行に移されている。それらの口座はU.B.S.銀行システムに30~40年間保持されており、額は約3兆か4兆ドルで本物です。彼らが本物であることは、U.B.S.銀行により承認されている。彼らは取引を行い、これらの口座を解放する予定です。

スカルノ信託は、担保口座とは別のものです。繰り返しますが、担保口座はドラゴンファミリーの担保で、アジアのドラゴンファミリーが設立したものです。グローバル口座は、世界に向けて出て行くことを意図していた。特に世界の非同盟国である144カ国。少なくとも144カ国、若しくはそれ以上。これらの口座のいくつかは西のものである。ここに来たことのない人々には、インドネシアは驚くべき国です。多くの島々から成る大国で人口は2億8千万人のイスラム国家。世界最大のイスラム国家である。インドネシアは古い文化を持つ。ヒンズー文化であったが、あらゆる種類の部族が存在する、非常に洗練された部族文化である。インドネシアでのあの西によるクーデターと、スカルノが自宅軟禁されて以来、インドネシアは過去60年間多くを経験してきた。だから長老たちは西が欲することは非常に信じ難い。彼らは口座とお金を盗むためにここに来ているのでは？彼らはやって来て約束をし、お金を持って消えるつもりでは？

彼らは、彼らに接近してくる人々に非常に警戒心を抱く。それは、英国のトニー・ブレア・ソロス・ロスチャイルド一族・クリントン・等、他の多くがここに来ていたからである。彼らはお金を手に入れ・お金を盗み・長老達を騙してきた。このことから、ニールが正しい理由でそこに来ているという信頼を得るまでに、過去一年半の間という長い時間を要した。インドネシアの長老達は、これらの口座の保護者である。彼らはこれらの口座の所有者でも預金者でもない。先ほど述べたよう、これらの口座はドラゴンファミリーによって設立された口座なのだ。しかし過去60年の間、この国の多くの長老達は世代とともに去って行った。そして今の長老たち、若い長老たちは言う、「これは我々のお金だ。誰のものでもない。我々のお金だ。」

しかしそうではない。「これらの口座の所有者はドラゴンファミリーであり、あなたが使うためのものではないことを理解するように」とニールは長老達全員に警告を発行した。しかし同時に、長老達であるインドネシアの保護者達は、これらの口座を保護するという彼らの仕事を、殆どの場合果たして来ているのだ。殆どの場合。これらの長老達の殆どはデューデリジェンスを行ってきた。そうではない場合も結構あり、彼らは間違っただけでそこから盗んだり、人々が生きて行けるよう十分な食料と米をそこから与えた。経済的には、ジャカルタは非常に豊かで繁栄した都市で、ある面で近代的な西洋の都市のようである。しかし、田舎は非常に貧しく、彼らはインドネシアの実際経済から切り離されている。

戻りますが、過去8年の間、ニールが自己負担で実行に費やしてきた額は8百万

～9百万ドル以上である。30万～40万ドル、若しくはこれ以上が、彼の口座から盗まれている。また彼が南米と中央アメリカに持つ、数百万の銀行口座は拒否された。これらは多分彼に戻ってこないだろう。それはきつともう盗まれているだろう。そこで2016年、彼は担保口座を理解する人々、彼が実際何を行っているかを理解する人々を求める地点に立つ。彼が実行していることや担保口座の重要性を掴めない皆様 -- それらは正真正銘です。そしてニール・キーナンは預金者から承認を得ている。その承認を持つ者は他に誰もいない。誰も。

誰もいない、偽のOPPTの・SwissIndo・レッドドラゴン・OITC・のいずれも、ドラゴンファミリーから承認されていない。ニール・キーナンは承認されている。彼はインターネット上に文書を載せない。人々がそれらを複製して、自分達の目的のために使うからである。彼は賢く全ての持ち札を見せない。それは人々や反抗者達の疑惑を招く。「ああ、ニール・キーナンは泥棒だ。彼はそこに行って箱をつかみ、お金を盗む」と彼らは言う。

先述したよう、昨年はインドネシアで基盤作りをした。そして主要人物達とコネクションを作った。特に我々が"王子"と呼ぶある人物。彼にはインドネシアの別の名前があるが、我々はシンプルに彼を"王子"と呼ぶ。彼が口座が入ってくる主要担保口座の地下室の金庫の門番であるからだ。そして、これらの地下室、約6エーカー (7344坪) の広さで5層から成る、この地下室は金塊・ルビー・ダイヤモンドで満たされている。私はその地下室に入っていないが、それらについて、その所在地を知っている。ニールはその地下室に入ったことがある。ニール・ネル・それとあと2～3人が、その地下室に何があるかを見て来た。その地下室にあるものを把握するのは、気が遠くなるようなことである。それらは少なくとも1944年以来そこにある。触れられることなく、そこにそのまま貯蔵されてきた。担保と関係した全ての文書はそこにある。

この担保は今でも、色々な国で使われている。ということは、お金は入り引き出され、人々がこれらの口座の利息を支払っているのだ。そこには、ユーロ・米ドル・複数のアジア国家の貨幣がある。私自身ニールと一緒に王子と会ったことが数回あるが、その時私はニールとは関与していなかった。ある地下室から彼が最初に引き出した箱は、金塊の贈り物として彼に与えられた。私が思うに、約1500万ドル相当のものだったと思うが、私が間違っているかもしれない。

金塊の箱は完全に変色しており、箱の中の何かの成分が金塊を変色させていた。けれどその金塊を掃除すると、それらは実にUBS金塊、1キロの金塊であった。与えられたその金塊を、彼は他の大きな箱へのレバレッジにすることにした。その頃ニールは徐々に長老や王子の信頼を築いていった。王子は彼にある箱を与えた。その背景にはいくつかの問題があった。他の中間業者達が、保護から離れその時起きていた次の取引を台無しにしてしまったのだ。長老達と仲買人達の間、非難が始まり論争となり、多くの混乱があった。そのように物事が少し困難になり、長老達と王子はある程度身を引いたと私は思う。

2015年、そこにいた私は、ニール・キーナンと一緒にいる王子に会った。彼らは誤解から関係を回復した。諸々の問題があったが、これらの担保口座を開くために、また一緒に作業するようになったことを自覚する王子を私は見た。王子は計り知れない量の仕事を持つ。彼がすべきこととその責任は彼のコミュニティーのためだけにではなく、他の多くのインドネシアの人々のためにも持つ責任なのだ。彼は巨大な責任を負っている。物事は前進し、王子の家で私は再び会い、腰を下ろしていた。契約が設定され、彼らは、ニール・キーナンが正しい人物であることを認めた。

彼らは彼らのデューデリジェンスを行った。述べたようインドネシアは驚くほど古い非常に神秘的で精神的な文化を持つ。彼らは精神に深く入り込んでいる。ニール・キーナンは彼らの魂であると彼らは解した。ある意味で彼らがニール・キーナンと話しをしたということは信じ難いことで、彼の到来を30年の間彼らは意識していた。ニール・キーナンが彼らと会った時、これはあのスピリットだ・あの白人の男だ・待っていた西からのあの白人の男だ・と彼らは感じた。それでもまだ、彼らはニール・キーナンを肉体的に・彼が現在行っていること・彼の業績・について調べることを必要とした。

この時点で王子を通じて、ニール・キーナンは王子の上にいる主要長老達に紹介された。これは合意書の設立であった。王子を監督する長老達は「実は2014年の末、あなたが初めて王子と会った時、王子を通しこの文書をあなたに渡したかった」と述べた。しかしそれは起きなかった。その全詳細を私は知らない。ニール・キーナンに栄光を与え承認するその文書は、実は2015年彼に与えられることになっていた。それにより、彼はインドネシア人が言うナンバーワン、M1、すなわち金銭管理者となり、これらの担保口座を世界に持ち出すことを助ける。

しかし何よりも先に、インドネシアの人々に、まず敬意が払われること。これらの口座を70年以上守ってきた彼らとその敬意を受けるのは当然である。「我々は敬意を表し許可を与える。あなたのための書類を私達は準備しました。次回あなたがインドネシアに来たら、あなたが前進できるよう、我々はそれらに署名します。私達とインドネシアをあなたが尊重する限り、担保口座を世界に出すために私達は一緒に作業します」と彼らは言った。これら全てが起きたのは、2015年8月半ばでした。

その時でした、インドネシアの誰かがニールのデビットカードを盗んだ。誰がどこで行ったか、現在我々は解っている。約25万ドルが盗まれた。インドネシアで、最後の一押しの段階にいたニールは、そこでお金が切れてしまい、ブルガリアに戻らなければならなかった。彼がブルガリアに戻ったとき、前年に続き二度目、彼のブルガリアの銀行口座が一掃されていた。盗まれていた。突き詰めたところ、ロスチャイルドの銀行であった -- 銀行自体が強盗である。銀行システムに入り込み、まさしく口座を一掃できるシステムなのだ。彼の口座から再び20

～30万ドルが盗まれた。

現在2016年の春、ニールは現在全ての資金を失った。資金ゼロというのは、彼にとって初めてだった。世界の他の人々は、ニール-キーナンに資金を与えるかと警告されている。そこで2016年の春、公衆から資金を調達するという考えがあったが、ニールはそれをとにかく望まなかった。何よりも生きるためにお金が必要・家族の生存がかかっている公衆から、少しずつ調達するというのを、彼は望まなかった。それを正しいことだと彼は感じなかった。

過去6ヶ月～1年の間、ある紳士が歩み出てきた。以来とても面白くなっており、そのことのため我々はこのインタビューをしているのです。マーク-トーマスは過去数年間、ニール-キーナンと連絡を取ろうとしてきた。ニール-キーナンを支援する手段として、ローズ-オブ-ライト (光の造物主たち・Lords of Light) という慈善基金を彼は提供した。そして米国にもその活動を設立する。慈善団体を介した手段で全て合法的に資金調達を開始する。これにより人々がニール-キーナンの試みの一部となり、彼を支援できる新しい手段である。そして人々は彼の行動を理解し、担保口座の重要性を理解する。これらの担保口座を終了するのに、ニールが現実的に要するお金は50万ドル。インドネシアでのこの実行・ヨーロッパでデューデリジェンスを行う・会計士・弁護士・銀行家。この範囲の額だと無理無くこれを達成できるはずだ。彼は間もなく実行に入るであろう。彼が必要とするこの資金は、どうも来月中には調達できそうだ。

その火中に彼は多数の熊手を持つ。人々は歩み寄る。何が明るみになるか見ようではないか。慈善団体を通じての支援を設定することは、現在本当に良いことである。また将来に向けても、米国家慈善団体を媒体とすることを可能にする。ニール-キーナンが口座を開けば、米国で入金された慈善基金が既にそこにある。また、人々が自分の人道的プロジェクトを提示すれば資金を得ることができるようになる。

ですから皆さん、マーク-トーマスが申し出たローズ-オブ-ライト慈善は、人々が参加でき、媒体の前進を可能にし、お金が米国を通り抜ける、非常に良い媒体となるとニールとグループKは感じている。この慈善団体の財団を、同様にインドネシアでも設定する。担保口座が開かれ、同意書に署名すれば、インドネシア最大の地下室の金庫を支配するその文書に、ニール-キーナンが署名するよう長老達が準備を整えている。ニール-キーナンがインドネシアへ戻って来るのを彼らは待っている。

「来てください。すぐに来てください。このことを早く動かさねばならない」と彼らは実際ニールに連絡をとっている。ということは、物事を前に動かすステップを踏む段階に来たということだ。そして、世界は大きく変化しており、昨年の過程を見ても、西洋システム・連邦制・中央銀行システムは、以前持っていた影響力を失っていることが解る。実際彼らは崩れているのだ。彼らはお金がない・

不換紙幣は全て暴かれた・彼らのお金は底をついた・偽政権は終わった。東アジアのシステムが上昇する。彼らはシステムを介してお金を移動するために、新しいスウィフト-アカウント-チップス (Swift account chips) を設立した。

アジア・中国・ロシア・ブラジル、ご存知のBRICS諸国は前進している。そして、これらの担保口座は、アジア、東部を基盤に設立される。彼らは間もなく確保するだろうから、現在欧米で安全なものは何一つない -- 全て不安定である。ニール-キーナンが手に持つ資金で、近々前進する。これは重要で、今年2016年は面白くなりそうだ。失われて行く日々は、世界と特に西を荒廃させて行く。この取引が進行する間、日々前進する我々にとって本物のお金がないことは、西側世界にとって、特に米国に取って破壊的な打撃であろう。

ニール-キーナンについて、担保口座について調べた知識と背景を持つ人々を希望する。その基礎があり・ニール-キーナンが実際に行っていることを理解し・前進を信じた上で・可能なら寄付をする、というのが大切である。そこから、地下室から運び出される長老達が保護してきたものを、貨幣化する作業をする弁護士・会計士・銀行家を見つけることができる。

過去一年半、グループKの一部であることは興味深い。ニールともよく話す。多くの人々が彼に電話をかけてくる。トップの人々、世界中の有力者達が。皆さんが秘密結社と呼ぶ者達と善玉を代表する人々両方からである。ニールがドラゴンの代表からの電話で話している時、私は少しニールに喋ってしまった。ニールはそこと電話で話す時、又はそこから電話が掛かってくると「この人と話している時は、静かにしてくれよ」と言う。また、この場で適切だとは思わないので、名前は伏せるが、米国の秘密結社のメンバー達、多数のメンバー各人がニール-キーナンに電話をかけてきている。勿論「我々のチームに入れ」と彼らは言う。勿論ニール-キーナンは言う「俺がお前のチームに入りたい理由がどこにある？ごろつきども。なぜ俺がお前のチームに入りたい？」そして彼は彼らに食って掛かる。

ニール-キーナンは何も恐れない。彼を脅す者は誰もいない、誰ひとりとして、最上位のロスチャイルド家に至るまで全員。その上部にいる人々、詳しくは最上部だが、実のところ彼らはニール-キーナンに感謝している。彼の中にある不屈の魂を彼らは認めている。誰からも脅されず、強く立ち上がる彼を、彼らは好んでいるのだ。私は、それを見てきた・その会話を聞いた・ごろつきどもが話すのを聞いた・我々に知名度の高いクリントン家・ブッシュ家・ロンドンの貴族、も名乗り出ている。そして善い側には、ロシアの人々・トップにいる人々・最上のプーチンに至るまでの全員が名乗り出て、何かの形でニールを支援したいと申し出ている。セキュリティを介して、彼を十分に保護したいと。

ということで、ニール-キーナンは、世界舞台のトップクラスの大物全員と会い話をしている。彼が話をしていない人は本当に誰もいない。一般市民がニール-

キーナンが何をしているかを理解することは非常に難しい。人類から隠された担保口座を知り、驚いていることでしょう。しかし銀行システムのトップの人々でさえ、担保口座が何であり・そのお金が西洋の銀行システムの資金になっていたこと・その全てはドラゴン-ファミリーを通して、アジアから来ていたことを理解していない。数え切れない程の銀行のトップの人々がですよ。過去3～4年の間、ニール-キーナンとその他による発表を唯一の秘密情報源とし、彼らは担保口座について、それらが本当にあること・事実存在すること・現在それを証明することは難しくなくなったことを教育された。ケネディ-スカルノを介したコネクションは、そのコネクションの深さを理解することが非常に重要である。

ということでニール-キーナンが、この仕事にぴったりの適役です。彼は訓練されている。彼は全てを作業を要するゲームのように見なす・勝っても負けても、そこから学ぶ・人生は挑戦だ。彼は正しく行った末、口座の持ち主から栄誉を受け承認を得た。つまり、ドラゴンファミリーとのコネクションが鍵である。彼はインドネシアで時間を過ごし、長老達から信頼を得てコネクションを作る努力をした。法的な承認を得た上で地下室に入ったが、盗まなかった実に初めての人物、初めての西洋からの人物。そこで長老達は、ニール-キーナンがその仕事をするべきだと理解した。言動と行動が一致する彼に彼らは歩み寄った。主要長老達は彼を担保口座代表に任命することを承認した。

ニールは、両方の家族預金者の承認を持っている。そして彼は、これらの口座の預金者によって合法的に承認された文書にもうすぐ署名する。ここまで行った人は今まで誰もいない。それを試みた他の者達はインドネシアの長老達を、主にアジアのドラゴンファミリーを、百年以上の間だまし、巻き上げることのみを目的としてきた。

これで皆さんが、ニール-キーナン、グローバル担保口座について少し理解できたことを願います。もっと知りたい場合や詳細は、www.neilkeen.comに行ってください。そのヒストリやタイムラインを知る最も手早い方法は、"ニール・キーナンのイベント/タイムライン"をGoogleに入力することです。最初にくる文書でアクセスできます。

皆様、聴いて下さり有り難うございます。我々グループKが実行していること、ニール-キーナンが彼の意味から過去7年間、自費で誰からも10円も求めず、この地点まで追求してきたことを理解する方々から、連絡があることを望みます。彼は他の人から助けを要していることを自覚した上、謙虚でなければならない。歩み寄ってくる人々は、大抵の場合、グループKを前進させる人道的プロジェクト、また何か専門知識を持ち、グループKを組織へと発展させて行く。これが基盤となるであろう。担保口座のお金は一切銀行には行かない。担保口座が本来意図する、人道的な理由どおり、担保口座が正しい人々に届くことを確認する、コントロールベースとなる全ての基礎をそれは通過することになる。これらは1944年以来それを意味してきたのだ。ブレトンウッズ協定は、実際に財政的に

全世界を助けるためのもので、世界諸国のインフラ建設を目的としていたが、非同盟国家はこの側面を否定され "世界第三国家" という言葉で呼ばれた。そして西は更に彼らを食い物にした。

お聴き下さり感謝します。次回までベストを望みます。

ディーン・チェンバース

私はインターネットやソーシャルメディアを紹介され、それらの報道価値を知った。最初に気づいたのは、"ウォール街を占領せよ" でしたが、それはどの主要ニュースメディアもこの情報を取り上げていなかった。エジプトで3百4千万〜4百万の人々が彼らの政府をひっくり返したのに、どのニュースメディアを見てもそれについての報道は何ひとつなかった。そうしている内に、デイブ・ウィルコックに出くわし、私はドレイク・ベイリーとのインタビューを聞き、彼と友達になった。それは私がこの男性、ニール・キーナンに出くわしたのとほぼ同時期だった。最初は非常に僅かな会話しかなかったが、ドレイクを介して私は直接この男性と会い、彼のしていることに非常に興味を覚えた。私は彼と定期的に話し、彼が私に頼むことの一つは、いくつかの背景を聴衆に表現するという事だった。

皆様に私が準備してきたことをお知らせし、私のコメントも勿論加えます。それでは背景から始めましょう。ニール・キーナンとグローバル担保口座。ニール・キーナンとは誰？彼は世界を旅してきた国際的なビジネスマンで、他の人々が決して触れようともしない色々な取引とプロジェクトの立て直しを引き受けてきた。彼はアンデスからサントドミンゴへと発展途上国の大統領と共に働いてきた。そうしながら、ビジネス・貿易・投資・銀行業務・に携わる様々な人生を歩む色々な人々と接触をした。8年前にグローバル担保口座について誰が実際に何かを知っていたらどう？本当にごく僅かな人々だったであろう。その頃ニールにそれを尋ねたとしても、それが何であり、その持つ重要性について知らないと言ったことだろう。

単にビジネスだと思い踏み入れた彼は、巻き込まれていった。しかしニールは、この取引が想像を絶する膨大さであることと、人類を救う時機の重大性を同時に素早く把握した。過去7年の間ニールはアジアの預金者ドラゴンファミリー・ゴールデン-ドラゴン-ファミリーのためにグローバル担保口座の救出を試みている。またこの期間中、彼は重要人物全般と接触してきている。それは、ビジネス・金融・貿易・諸国代表者・王族・さまざまなアジアの長老たち、といった影響力を持つ人々である。

注釈としてですが、私は会話を聴くことを許されており、これは全部本当に真実であることを知って下さい。ニール・キーナンが誰であるか -- もちろん彼が高レベル金融ゲームプレーヤーであること -- 秘密結社犯罪者の最高レベルと対応すること -- を今や多くが知る。キーナンは、彼の幅広いビジネス経験と、持ち前のスポーツマン・ファイター精神を組み合わせ、忍耐を重ねて来た末、人類の世

界愛国者となった。ニールは常に一般人と弱者のために、より大きな善を果たそうと人類のために戦ってきた。預金者達のためにグローバル担保口座に接触し、それを回復する現在進行中の作業に、彼の独自の実績は理想的に適している。同時に、このことは徒党債務奴隷化システムから人類を解放する。

ニール-キーナンの出現。イベントは、2009年のバチカン金融インサイダーによる盗難まで遡る。ダニエレ-ダル-ボスコの1445億の連邦準備銀行券は、アジアの古代の裕福な一族のグループであるドラゴンファミリーによってキーナン氏に委託されたものだった。彼らがこのグローバル口座の非公開元帳にある巨大な量の金塊の正当な持ち主である。

ドラゴンファミリーは、その口座の本来の意図である、人道的プロジェクトのために使うことを、何十年もの間試みてきた。そしてニール-キーナンの評判・広範囲に渡る接触・強い意志・国際ビジネス才能、を理由に彼らはキーナンに助けを求めた。この窃盗に対しキーナン氏は、エリート達と機関に対し、兆ドル訴訟を起こした。それらの機関とは、国連・世界経済フォーラム・世界銀行・イタリア政府・イタリアの財務警察・シルビオ-ベルルスコニ・その他である。

110ページのその訴訟は、まずニューヨーク連邦裁判所、兆ドルの訴訟で見ることできる。その兆ドル訴訟を見るには、www.neilkeenan.comに行き、'ヒストリとイベントのタイムライン'をクリックし、2011年11月の事項を見る。その後その訴訟を取り消した彼は、より効果的な管轄でもう一度その訴訟を申し立てる。キーナンはまた、ドラゴンファミリーに代わって、秘密結社権力構造の有力者達に対して停止命令を申し出た。彼らがグローバル口座の詐取を行っていたこと、これから先の詐欺に対して彼らは起訴されることになる、彼らに通知した。停止命令にある名前は、ジョージ-ハーバート-ウォーカー-ブッシュ・ジョージ-W-ブッシュ・エリザベス女王二世・国際連合・バン-キムン・デビッド-ロックフェラー・ヒラリー-クリントン・複数の世界組織の主権人物達・秘密結社内の者達。

キーナン氏から盗まれた債券は、口座に預けられた金塊の支払いとして、ドラゴンファミリーに与えられた連邦準備銀行券であり、それらの使用を連邦準備銀行は継続的に阻止している。キーナン氏の訴訟は、この窃盗に対する初の力強い防衛の試みである。ケネディとスカルノの間で行われたグリーン-ヒルトン記念契約の原本・初のM1が誰であるか・その口座の秘密記録であるブラックブック、等、主要文書はキーナン氏の手中有る。多数の他の証拠も提供できる。キーナン氏の参加に加え、他の主要プレーヤー達のインタビューの過程が一部として持ち寄られ付け加えられるであろう。その人達は、インドネシア人の資産の後見者達・強力なアジアの金融関係者達・その他である。

可能性を探るため、直ちに話し合うことを我々は提案する。「窃まれたと主張される債券についての依頼が私の本来の使命だった」とニールは語る。「しかしそれには、私自身にもっともっと大きな能力が要されていることが、はっきりと見

えてきた。そして見えていることと事実は、二つの異なることである。彼らは我々を利用している。ロスチャイルド家・ロックフェラー・モーガン企業連合・様々なシオニスト-ナチス・カザリアン-エージェントにより、大規模な詐欺を世界的に永続する私達の政府は、大きな偽の企業である。」「十億ドルの債券は、」彼は続ける、「重要であっても、後部席を取らなければならない。人類が助けを求めている。私はこの獣と勝負をつける。相手が殺されるか、私が殺されるか。人間は盲目の人生を生きるべきではない。人間は従順で自己の意見がなく多数に従うための訓練を受けるべきではない。」 -- ニール-キーン

地球人類の全滅を企て工作し、世界的支配権を握ろうとする挑戦に対し、一人の男に何ができるかを、ニールは例としてありありと実証してきた。ニール-キーンとグループKは、画期的な変化・世界の出来事と状況を暴露し提供してきた。彼らの肉体と魂は地球上に重要な変化と影響を与える役割を果たしている。

行われたいくつかのイベント歴を要約して紹介します。2008年：ニール-キーンにドラゴン-ファミリー資産を代表する権限が与えられる。2009：キーンは個人的に連邦準備銀行券の管理権を受け入れる。2011：キーンはエディー-セノ-ソエカント博士からPOAを発行。彼は画期的な出来事 モナコ協定 グローバル閣僚57名と会議。キーンは盗まれた債券の返還を促し“兆ドル訴訟”。G7の中央銀行と12の連邦銀行に対しキーンは先取特権を告訴。

最初に話したモナコ協定に戻ります。彼はそれの一部となり、非同盟国であるNAMにも一部となった。それは今日のBRICSの基盤であり、現在それはBRICSと呼ばれる ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国。彼らは西と戦った。

2012—キーンは複数の内閣総理大臣と女王一人を座から引き下ろす。2013—キーンはパトリオット(米陸軍の地対空迎撃ミサイル)が、核弾頭の爆発させる秘密計画を食い止めたと報告。キーンは銀行の中心地に行き、陰謀団の指導者達と会う。2014—キーンは、IRS(米国内国歳入局)は外国法人であることを暴く。また彼は“飛行禁止協定” 国際飛行禁止区域を提案する。彼はスルのスルタンとバチカンの間の千兆ドル取引を阻止する。彼は歴史上最大の金塊の強奪が韓国で起きていることを暴く。彼は金塊を盗むためにインドネシア侵略を企てる日本を食い止める。彼はインドネシア転覆をねらうクリントン財団の企みを暴く。彼は富の貯蔵室 "地下室"に入る初めての西洋人。彼は米国社に対し"停止命令"通知を発行。そして彼はタイから金塊を盗むための陰謀団の拡大計画を暴く。2015 - - キーンは適切な受領者達に"法典とマクルマト" を発表。彼は米国/ NATOによる撃墜ジャーマンウイング撃墜の秘密情報を報告。彼はジャカルタで開催される世界経済フォーラム(WEF)を暴く。文書に署名すると、キーン氏はナンバー1 (GCAのN1) として知られる。

リチャード・モンゴメリーによるディーン・チェンバースのインタビュー

ディーン： 私はドレイク-ベイリーを通してニールを知り、デビッド・ウィルコックのインタビューを通じてドレイクを知った。彼はワシントンでの大量逮捕と担保口座を話していた。私がそれに注意を向けたのは初めてであった。多分3〜4年前だっただろう。間接的に私はKグループが出す記事を共有していた。約一ヶ月程前、私は自分の仕事を辞め、グループKにきた。そして彼らとニールと直接仕事をしている。

リチャード： 参加後、彼らの仕事についてどう思いますか？

ディーン： ニールは、世界中からの専門家を寄せ集め、見事なグループを組み立てていると思う。寄せられた数々の投稿を、キーナン-グループの記事として出す組み立て作業をする彼らに、私は主に耳を傾ける仕事をする機会がありました。出来る限り最も正確な情報を出すために、彼らは非常に勤勉で用心深い。そしてニールはそれを受け、通常最後にそれに肉付けをする。そしてご存知のごとく、その後、リチャード、あなたが全体を組み立てそれを出す。

リチャード： 彼らのコネクションの面ですが、グループKのコネクションをどう思いますか？ 彼らが主張するほど勝れていますか？

ディーン： 以前私がCVIにいた頃、情報源を求めると必ず「匿名を希望」と常にお決まりの文句が返ってきた。彼らは軒並みにまず情報源を与えない。Kグループに来てみると、彼らには常に情報源がある。実際のところ「この部分、この人と話すよう」とまず言うのはニールである。そして彼らに電話をして私達は電話会議を行う。何と多数の世界の人々がニール-キーナンと繋がっているのだろうと私は驚かされる。

リチャード： あなたがニールと内密で話した会話をいくつか教えて下さい。内容だけで名前は不要です。

ディーン： 私が最も驚いたことは、世界中の多数の国々がニールと直接話すことです。政府の最高レベルが直接彼と話すのです。彼らは大体同じ目標を持っている。彼らは経済面でニールが望むものは何でも与えたい、そうすれば彼が担保口座を開けられる。彼らは全ての収益を欲している。そういったことをニールは断固として拒否する。米国人の彼は、米国人達を救いたい、インドネシアの人々を救いたい。先ほどの点に戻りますが、アジアにいる人々・ヨーロッパにいる人々・スカンジナビア諸国にいる人々・英国の首脳がいる。南米の少なくとも3つの国からとの会話を聞いたことがある。こうしていると、世界的レベルで実際起きていることの大きさ・ニールの肩にかかった世界の勇者としての彼の責任を認識する。

リチャード： そうですね、そういった全ての国々の共通点は、みな条件付きの

申し出をしているようです。「これは全ての国家政府から、独立して行うことを要する」とニールは断固として譲らない。インドネシアに戻り、事務的処理を完了し、口座を開けることを、独立して調達された資金で行う。これが彼が奮闘している理由である。

ディーン： それは絶対に正しい。これにまた別の側面がある。世界中の秘密結社の全関係者が、彼を買うために奔走している。秘密結社トップ層の名前、内密に通じた人達、その内の誰の名前も言わないが、トップの人が直接彼に電話をしてくる。そして彼を買うために驚異的な額のお金を提供する。最近の記事、新共和国/旧共和国を最近の記事で暴露した大騒ぎ。ワシントンは、シナリオから彼を消すために、彼を買おうと死に物狂いだった。彼がどのように彼らをやっつけたか私は繰り返すことができない。彼の焦点は研ぎすまされている。彼は実に多くのことを経験してきた男である。彼は6回毒を盛られている。彼は肉体的にも精神的にも攻撃を受けている。彼は背後に傭兵を持つ。彼は賄賂を拒否し、最も高い誠実さと道徳精神で物事をやってのける。私は、このプロジェクト全体の一部であることを謙虚に思い、Kチームの一部であることを誇りに思う。常に実践されるプロ意識には驚かされる。とてもポジティブで、それには伝染性がある。ニールの銀行口座から、非常に高額な資金が現在盗まれている。

リチャード： でもそれはある複数の口座のことで、その他の口座も言うまでもなく凍結されている。

ディーン： その通り。彼に送金しようと、電信為替送金を試みる人々がいたが、それはスウィフト-システムを通じて銀行で完全に凍結していた。とにかく彼らは彼にお金を持って欲しくない。最初のドミノが倒れたら、それがどんな結果を招くか、彼らは知っているからだ。そうなればくりと回転し、全てが永遠に変更する。彼は決心している。彼らは彼にとにかく消え失せて欲しい。彼は消え失せない。

マーク・トーマス

では要約して紹介します。私の名前は、マーク-トーマス、ローズ-オブ-ライト (光の造物主・Lords of Light) 財団の創立者です。これは媒体形式を使う方法で、私が22歳の時に持ったビジョンです。その頃はそれがどうなるか、後年になるまで分からなかったが、自分が非営利財団を媒体に選んでいることに気がついた。それは民間財団で、2007年9月にIRSによって適用され承認された501(c)(3)である。私が家族と一緒に作業して作ったもので、私の子供・甥、家族メンバーが参加している。ですから私はそれを家族財団と呼ぶ。それは、個人財団ですが、2015年6月に一般公開することに決めた。個人的な設立の外で何かをするのは、私達にとって初めてであった。

私たちはURL www.lordsoflight.org を長い間を所有しており、2007年以来私たちのURLです。しかし実際に活動するページではなく、昨年11月まで単にプラ

カードがあるくらいでした。

それから自分の人生中の様々なことに取り組み始め、多くの非常に興味をそそるものに出くわした。そして30年程の間、金融を見たり、"ジキル島の生物"を見たりしながら、お金がどのように働くのか・それがどこから来るのか・誰がそれを発行し・それがどのように管理されるか、こういった物事を理解しようと自分で調べた。大変多くの様々な一連する教育を独学で身につけた。これらの道は、いくつかの点に私を導いた。

主要点の一つは、デビッド-ウィルコックがインタビューしたドレイク-ベイリーのインタビューを聞いたことだった。それは2012年で、私にとって非常に重要な主要点であった。その種のメッセージに、私はなぜか共鳴したからだ。それから私はその話を継続して追い、そのサークルを介して出会ったニール-キーナンというある紳士に見慣れ始めてきた。私にとってニールは非常に興味深い人物である。私はニールを知ろうと非常に熱心に作業を続けたが、それは容易くなかった。私は彼を知らない・彼は私を知らない・彼は忙し過ぎる・私は忙しい。私は彼に連絡を取る方法を探した。約3年間、私は彼に連絡を取るために懸命な努力をした。

私がキーナン氏に伝えた考えというのをここで説明します。その考えというのは、私の503 (c) (3) 財団を、彼の努力を支援する供給源の媒体として利用することで、非常に着実な方法だと私は思う。

ローズ-オブ-ライトのユニークさとは何か。七領域での資金調達が私には承認されていることを理解して下さい。殆どの非営利団体は、一つか二つだけだが、我々には七つが承認されているのです。それは様々な供給源を配置して利用できる、一種の傘式サービスを生み出す。

私の傘式サービスの一つにヒーリング-アーツと呼ばれるものがある。この特定のプロジェクトには、これが適した使えるカテゴリーだと私は思う。3年間聴き、キーナン氏と対話を持つと、私は彼にメッセージを送り連絡を取ろうと試みた。2016年2月、遂に私はその機会を得た。話しを更に進めるために私は飛び込んだ。電話でキーナン氏と接触する機会を得たのだ。私達は何時間も話した。2月以来、現在まで毎日かなりの時間話す。この紳士を知れば知るほど、彼は実在人物であることが解ってきた。彼は存在するのだ。以前インターネット上で多くの人が、彼は実存しているのだろうか・彼は本物だろうか・彼は実在するのだろうか?と言っていた。ええ、彼は実在人物です。私は彼と電話ですつと話してきてます。これらをまとめて組織化してきた彼の努力に、私は感嘆する。彼ほど多くを犠牲にしてきた人は、過去にも未来にもいない。彼は自分の言うことを実行する。

私の考えは、彼を助けること・それらの口座をオープンする努力の支援をする・

これらのことを組織化する・そして公開する。そうすれば、人々を助けることができる。私の最終的な目標は、私の財団を媒体として用い、人々を助けることです。必要なことを実行して成し遂げることが、全体的な考えです。そうすれば人々は清潔なエネルギーを得られる・清潔な水を得られる・教育を身につけられる・家を持てる・自然環境の保存と保護ができる・医薬品なしで治癒ができる・GMOに充満されていない食物を食べることができる・その他もっともっと。とにかく必要なものは全て持てるようになる。

財団のこの同士精神と計画は、ニールの取り組みと非常にうまく噛み合う。そしてニールと作業するそのファミリーは、人類にとって最適となるよう極力焦点を当てている。彼らが見たいのは、誰もが供給源を持ち、誰もが必要とするものを持つということである。一握りの西の上層にいる人達だけでなく。

ローズ-オブ-ライト財団の、私が組んだ初のプロジェクトは "歩兵の資金調達" と呼ばれる。私達のウェブサイトに行けば、歩兵の概念について読むことができます。歩兵とは最前線にいる人で、ご存知のよう、それらの人々はよく犠牲になる。戦争で最初に倒れるのは彼らである。この状況での歩兵、それはニール・キナンである。彼はそれにぴったり当てはまる。彼を助けることができれば、私は光栄に思う。私はニール周りの人々を奮い立たせたい。私の周りの人たちも。そして世界中の人々がこの取り組みを支援する。私にできることは、税控除の寄付金を供することです。ですから、ローズ-オブ-ライトに寄付すれば、その大部分のお金はキナン氏に行きます。そうすれば、その供給源を手にも、彼は彼の仕事を完了する。

私は全てに対し非常に快い。私は自分のデューデリジェンスは行ったことになる。この紳士に対し私は非常に快い。そして彼が取り組んでいることも。全体が正当である。私が何か助けているとしたら、それは私が喜んで行きたいからである。I.R.S.に税金を払っている米国の人々・会社が他の国にあっても米国税金を払う人々には、税制上の優遇措置を受けられる寄付を行う方法があります。特殊なケースがあれば、我々が調べ、控除を得る方法を見つけます。例として、カナダ人と他の国々の人は、別な国からであってもI.R.S.が控除を与える方法があります。それはケース毎に異なります。米国市民が米国からI.R.S.に納税をしている場合は、勿論なんの懸念もなく税額控除が与えられます。

私の説明はここまでです。質問や必要なことがあれば、私の電子メールアドレスが、ウェブサイトにあります。繰り返しますが、ウェブサイトは www.lordsoflight.org です。さて去る前に、ひとつ皆様にクリアにしておきたいことがあります。多くの人々が私にその名前について尋ねるからです。ローズ-オブ-ライトという名前は "エノクの鍵" に由来します。エノクの鍵とは、宇宙間の移動を許されている存在のことで、ローズ-オブ-ライト (光の造物主たち・Lords of Light) として知られている。また記録エンジェル・天の大臣であるメタトロンによれば、ローズ-オブ-ライトは天の父と同席するに値すると知らされている。

しかし彼らは、定期的に彼の存在から去ることを選び、出て行き、エロヒム（ヘブライ語聖書の中で頻繁に使われる神の名前）の世界として知られる光の世界を他に創造する。

これは全く宗教団体ではありません。宗教とはいかなる形でも関係していない。これらの引用符は、私が読んでローズ-オブ-ライト(光の造物主たち)の意味を知り引用したまでです。ローズ-オブ-ライト財団の構造は我々のウェブサイト上に公開されています。PayPal経由で1ドルが到着すれば、PayPalは手数料を取ります。その手数料は資金から控除されます。ローズ-オブ-ライトの私の口座に入ったものは全て、最初の資金レベルでは75/25で分割します。より大きな資金の場合、その天秤の75セントは80に・85に・90まで上がります。75セント～90セントの資金は、歩兵プロジェクトに分散されます。1ドルに対しての25セント・20セント・15セント・10セントは、運営費・団体設立費としてローズ-オブ-ライトに残ります。他の多くの非営利団体と同様、我々の団体は、寄付基金により設立していないからです。

わかりやすくいうと、誰かが寄付をすれば、その大部分である1ドル中の75セントは歩兵に行きます。この場合の歩兵はキナン氏です。これらの資金は明確に、供給源の会計もオープンで透明にし、当事者が使用できるようにします。いずれにせよ、良いビジネスを行うにはそのようにすべきです。ですから私の側の台帳には何の心配もしていません。私はすべてを行うつもりです。それは既に公開されている情報です。信頼性について・資金の行方について・一般的に人々が尋ねる諸々の質問についても、私は何の心配も懸念もありません。その空間でする作業は私には非常に快適です。ですからもし誰か質問があれば、繰り返しますが、私達のウェブサイトにある電子メールで私に連絡して下さい。ウェブサイトからクリックして電子メールを送信できます。

ニールは歩兵です。グループKのために働く全ての人々は皆ニールの組織内の歩兵です。だから、ネル及び全ての関係者 誰もがこの仕事を完了しようとしているのです。宜しいでしょうか？

歩兵という発想は、基本的に私の娘のアイデアから出たものです。マーティンルーサー-キングの時代、彼が彼の仕事に取り組んでいた頃、歩兵達がいた。皆さんがご存知のロサ-パーク・レストランで座り込みをした人々・そしてノーと言った人々のことです。彼らは最前線にいた人々です。我々の非営利財団の世界には、二種類の人々がいる。一つは、世界の全ての供給源を持ちながらも、税務上の利益を得るために団体形態を利用する家族。彼らは、資産を個人的な所有・企業の所有から家族の財団に移す。これは弁護士・会計事務所・その他によって結成されている。そして、それらはその財団構造に入る。それは彼らがI.R.S.に高額な小切手を書くよりも良い。彼らは財団でお金を管理するので、I.R.S.から義務づけられた税金を支払う必要がない。それが業界の一つのタイプである。

業界でのもう一つのタイプはとにかく人助けを好む人々です。それは歩兵のことです。その人は正しい理由から実行している。ローズ-オブ-ライトの私は、その人を見つけない。なぜなら私は出て行き、歩兵たちを見つけて、彼らが行う仕事を完了させるのに必要な供給源を提供したいからです。そうすれば、彼らの仕事完了後、世界がより良い場所となっているからです。

多くの人々にとって資金を調達することは困難です。彼らは募金活動について理解していない。彼らはお金を求めることを恐れている。殆どの人はお金全体に苦勞をしている。さて私は、民間部門で30年それをやってきました。営利企業のため投資家から資本を調達し、研究開発する仕事をしてきました。私は必要なスキルを学び、不安とそれにまつわる全てものを克服した。ローズ-オブ-ライトでの私の役割は資金を集めることである。資金が集まると、私は歩兵を見つけに行く。歩兵を探すために人々を雇う。そこで私は "存在しうる最大の歩兵" の一人を発見することになった。ニール-キーナンである。

代替メディア部門の誰よりも、彼は文句なしに、長い間これに取り組んでいる。そして、彼は彼自身の資金源でその全てをやって来た。世界の残りの部分が立ち上がり、この男性を称賛する時が来たと思う。そして彼が目標を越えられるよう彼の努力を支援する。だから私は電話をしているのです。

つい最近ニールは述べました「我々がこのプロセスを開始したら、止める理由は何もない」言い換えれば、費用の目標は達成するということである。それが何であろうと、とにかく進む。ニール-キーナンとグループKには、インドネシアにも財団が必要だ。

また現在、私は最初にローズ-オブ-ライトを設立した時のように、米国を通してことを運べる。国際的な慈善団体を設立できる書類を私は全て持っていた。開始は米国で始め、そこから私はこれをグローバルに展開できる。それは難しくない。とにかく私は彼を助けることができる。彼が最初から国際的組織の立ち上げを望んでいれば、それが完了した時には、最終的には国際的な慈善団体が目標である。

不明：あなたに今あるテンプレート-プラットフォームで、国際的な設定がより容易にできるだろうか？

マーク-トーマス：はい、それは最初からそのように設計されています。私が発表したプロジェクトの一つを、あなたが解るように教えましょう。私がR&Dで働いていた頃に戻りますが、我々は海の波駆動のポンプシステムを発明した。その技術とツール、私はその事業の株式の約12%を所有していた。それらの財団は、30%未満なので、私はその財団との交渉が可能で、その技術を活用できるライセンスをその団体から得た。私は南アフリカ共和国に行き、そこの大手銀行に紹介され、南アフリカ共和国のビジネス-リーダー達に会った。文字通りご存知のロスチャイルド組織である。私はその人達と座って、私がライセンスを持つ"

シードッグ"を技術として発表した。彼らが資金源を出し、私たちは南アフリカで再生可能エネルギーに乗り出す。明白に彼らは適切なパートナーではないし、彼らとビジネスはしたくない。彼らは南アフリカ国内最大の財団を持っているのですよ、皆さん。それが元で私は、海外の人々を助けるために、財団の仕事を始めたのです。アフリカは水を必要とする。私が何を言っているか解りますか？世界の色々な所で食料・水・あらゆる物を必要としているのです。だから私の最初の考えは、米国から世界中に向けて仕事をする事でした。

歩兵の考えが始まったとき、私は慈善募金を設立し始めていた。それを公表したくて、ウェブサイトを作り、個人から公共に対してという形で世界と話し始めた。そうした時、私が見た写真を使いたいという考えが私の頭の中に浮かんだ。そこで私は取締役会の長女に連絡を入れた。彼女は後1年2ヶ月で医師になる。私の考えである人々による、人々のための資金調達、を彼女に説明し「ジーン、どう思う？」と言った。彼女は言った「お父さん、それはひどい。」私は、そうか、で「助けてくれるか？」「ええ、お父さんが求めていることは歩兵に資金を提供するということ。一種のマーティン-ルーサー-キングのようなことよ。お父さん。解る？」と彼女は言った。

私はその時間に感謝する。皆さん、一緒に立ち上がり、これを目標としましょう。お時間をどうもありがとうございました。

著作権©2016、GROUP株式会社K、